



7月・8月の旭中央病院宣伝行動

2000枚のビラを患者さん・家族に手渡し

次々とビラを受け取り 頑張つて！ の激励相次ぐ

「宮本さんを職場に戻せ！」と、7月5日、8月6日に旭中央病院前宣伝行動を展開しました。

両日とも、病院正面玄関付近で患者さんや家族の皆さん等にビラを配布し、合計2000枚のビラを手渡しました。

宣伝隊が手渡すビラを受け取りながら、多くの皆さんから「頑張つて」との激励をいただきました。中には、「解雇は良くない！解雇は良くない！解雇は良くない！」と言いつつ泣きながら帰っていく女性もいました。

また、何人かの方からは「こういうビラまきもいいけど、直接、院長に言いに行った方がいいよ」と言っていた方がいましたが、「院長は、いくら求めても会ってくれないんですよ。そもそも、宮本さんを解雇したのは吉田前院長なんです」と説明すると、「そうか、それはひどいな。頑張つて」と最後には激励をいただきました。



正面玄関横に「宮本さんの不当解雇を撤回し職場に戻せ！」の横断幕登場



ビラを手渡す建交労の仲間

多くの仲間が支援に 地域復帰させる会と共同行動

7月、8月の両行動とも、JMIU、千葉県争議団共闘会議、建交労など多くの仲間からの支援をいただきました。

同時に、7月からは地域の「真実を解明し、宮本さんを職場に復帰させる旭の会」との共同行動となり、事務局長の高田さんをはじめ、地域からも参加をいただき、勇氣百倍で宣伝行動を展開しました。



玄関前でビラを撒く高田さん

宣伝隊に、続々と病院への不満と要求寄せられる

私たちの、ビラを撒きながらの病院前宣伝行動も浸透してきており、患者さんや御家族、地域の皆さんの反応も非常に好意的になってきています。「宮本さんはどの人？」等と聞いてくる方も少なくない状況です。

同時に特徴的なのは、地域住民の皆さんや患者さんの中に、病院に対する不満や要求が渦巻いており、それを私たち宣伝隊にぶつけてくるという方が多いということです。

「駐車場の障害者枠が18しか無く、しかも日中は健常者に停められてしまったため止められない。そもそもこの病院の規模で障害者枠が少なすぎる。何とか病院に言ってくれ」「師長と院長が悪い」「病院の質が落ちた」「東金から紹介されて3時間かけてきたが、いざ来たら『専門医がない』と門前払いされ腹立たしい」「独法化したら民営化されるからだめだ」などの具体的な声が寄せられました。



JMIU ソーラーシリコンテクノロジー支部の仲間

一部幹部の病院運営手法が病院を後退させている

「不払い賃金を当該職員全員に支給せよ」と求めた宮本さんを解雇したように、都合の悪いこと、気に入らない職員は手段を選ばず排除するという一部幹部の病院運営の手法は、患者さんや地域住民からの病院への要望も排除し、病院そのものを後退させてしまっています。

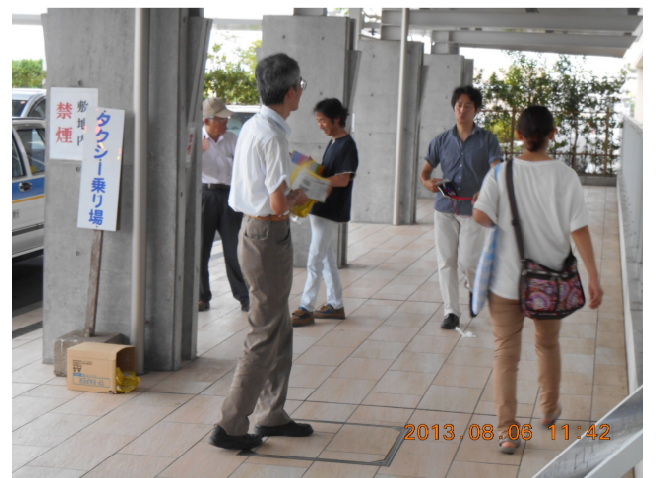
気に入らない職員排除などに支給せよ

「不払い賃金を当該職員全員に支給せよ」と求めた宮本さんを解雇したように、都合の悪いこと、気に入らない職員は手段を選ばず排除するという一部幹部の病院運営の手法は、患者さんや地域住民からの病院への要望も排除し、病院そのものを後退させてしまっています。

これでは、毎日奮闘している職員は嫌になってしまいます。宮本さんを戻すたたいは、これまでの病院運営を根本から切り替えるたたいです。引き続き、地域住民のみなさんや患者さん、職員みなさんに呼びかけながらたたいをすすめます



患者さんと対話する千葉県争議団・米本議長



2013.08.06 11:42